



「教育活動の有効性を実験心理学の手法によって実証する実践的研究」を共に考え、サポートします。心理学をベースにして教育活動の有効性を検証する際には、研究対象となる「こころ」をどう捉えて、どう測定するか（どのようにデータを取るのか）が大きなポイントとなります。ゼミでは、それぞれのゼミ生の研究に応じた「こころの測定の仕方」を指導・サポートします。ゼミでの活動を通じて、ゼミ生のみなさんが教師としての自分を見直し、多角的な視点から教育を捉えられるようになってくれればうれしいです。

ゼミ（前期＝水曜、後期＝金曜）では、各院生が自分の研究内容や進捗状況、あるいは研究で悩んでいること相談したいことを報告し、それに対して全員があれこれ知恵を出し合います。学年や校種の違う仲間から全く新しい視点をもらえたり、同じ悩みを抱える学校現場からのアイデアがでたりは、しょっちゅうです。現場の悩みを語り合ったり（＝悩みを笑い飛ばしたり）、趣味の話（＝推し活を含む）で盛り上がったたりもあるゼミ時間です。

### ゼミで扱う研究テーマ

基本、心理学が適応できる教育活動ならなんでも OK。なかでも、わたし自身の研究テーマにも関連するものは、次の3つです。

- ①リーダーシップ、手続き的公正から、学級経営・特活・集団づくりの効果を検証する研究
  - ②学校を地域の存在として捉え、地域住民とともに教育向上を図る研究
  - ③児童生徒や教師の心理的状态を客観的に把握し、その要因や改善を検討する研究
- が、なかには「道徳授業」やら「教育評価」をテーマにした強者もおりました。^^;;

### 修了ゼミ生の実践研究テーマ（上記①から③に対応させてみました）

- ①フェアな集団決定の体験学習が児童の学級アイデンティティと関係自尊心に及ぼす効果
- ①学級におけるオーセンティックリーダーシップの効果性検証
- ①教師の自立性支援研修を通じて授業のアクティブラーニング化をめざす研究
- ②地域とともにある学校づくりに向けてーコミュニティスクール住民及び教職員の意識改革ー
- ②「地域の学びの伴走者」を介して地域資源を活かす学習が児童の向集団的態度に及ぼす効果
- ②高校の「探究」授業の実態における地域連携の効果性の検討
- ③中学生におけるレジリエンスとストレスコーピングの関係
- ③教師の感情表出スキル向上プログラムの開発と検討

